

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 8月 26日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104138		
法人名	医療法人社団博寿会山下医院		
事業所名	グループホーム博寿会ほほえみ		
所在地	〒739-1734 広島市安佐北区口田1丁目14-10 (電話) 082-843-1011		
自己評価作成日	令和2年7月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470104138-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470104138-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年8月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

『入居者さんがどんな景色をみて、どんな暮らしをされ、過ごしておられたか』を大切にしています。地域の子供たちとの関わりや、近隣の商店にも、気軽に出掛けられる普通の暮らしを援助することが大切です。地域との連携をとり認知症の理解を深める活動を行っています。母体医療法人との連携で安心して過ごして頂けるホームでありたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

最近の事業所における特徴的な取組みとして第一に「馴染みの人や場との関係継続の支援」「居心地の良い共用空間づくり」に深化が見られる。即ち、事業所は「気軽に訪問できる事業所作り」「地域との絆」を大事にしているが、現在はコロナ禍による面会制限下にあるため、医療法人の強みを活かして嚴重な感染症対策を施したビニールカーテン仕様の面会エリアを玄関に設置する環境整備に取り組んでいる。第二に「災害対策」に深化が見られる。即ち、事業所は太田川に隣接した洪水浸水想定区域に該当しており、防災ライブカメラ等によるインターネット情報も介して近隣河川の状況分析を活用した災害対策を安全研修にて職員に周知させており、先の豪雨災害時にも実際に階上や近隣母体医院に避難した経緯がある。又、後方支援として隣接母体医院が災害対策としての備蓄整備も行っている。

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	その方の今までの人生を尊重した上で事業所の開設以来の理念であるやさしさを大切にして寄り添いふれあいを行うことを実践している。	事業所開設時に策定された理念を所内に掲示し常に確認出来る環境下で、実践上の立ち返るべき原点として位置付けている。年間行事や介護研修等を通して利用者の個別な生活作りを目指し、利用者への対応や状態変化等を振り返る中で、その気付きを意見交換したり、介護記録に残して理念の実践・共有・評価をしている。	開設時の理念の策定から17年目を迎え、理念の周知や実践につき、より深く取り組むことで更なる向上を期待したい。例えば、理念の下に事業所で分かり易い具体的な年間行動目標・計画を設定し、定期的に達成度を検証する案など、評価の検証過程を「可視化」することで、職員間の認識を共有化して理念の深化・定着に期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	食品や日用品の買い物は近隣の店舗へ外出可能な入居者と一緒に外出をして購入している。今年度が感染症対策の自粛の為に実施されていないが、地域の中学生の職場体験の受け入れを行い入居者との交流が出来る様なプログラムを継続的に実施している。	今年度はコロナ禍による外出自粛により地域交流が困難となっている。本来は近隣へ散歩・買い物等に出かけたがり、事業所主催の家族会での交流や母体医院と合同でボランティア等を受入れる相互交流もある。又、秋祭りの子ども神輿の訪問や中学生の職場体験の受け入れ等、世代間交流にも取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	昨年度は認知症サポーターステップアップ講座の受講生を受入れ認知症の方々を地域で応援する援助者の勉強の場として活用して貰った。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は奇数月の第4火曜日14時から実施し連絡や開催後の議事録報告もしており、事故・苦情ともに意見を求めている。しかし参加する家族は固定されており参加意欲を高める様な工夫の必要性を感じる。	直近の会議はコロナ禍による自粛で書面による事前照会となったが、本来は定期的に開催され、地域包括支援センター職員がほぼ毎回、時に家族代表・民生委員が参加している。会議では事業所の活動報告・意見交換の他、外部講師による整腸体操の紹介や不参加家族に議事録の送付等、会議の活性化に取り組んでいる。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議の連絡は区の介護保険課へ毎回している。生活保護の方については生活安全課との連携をとり入居者の権利擁護を行っている。	運営推進会議には地域包括支援センター職員が参加し情報共有をしている。区担当者とは日頃の相談・連絡や運営推進会議の開催報告書・事故報告書等の提出を通じ協力関係を構築し、行政主催の各種研修会への参加や認知症サポーター養成講座にも協力している。生活保護の利用者に対し生活課職員の訪問もある。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会は2ヶ月に1度開催し周知徹底する為に議事録回覧を行っている。また研修会の身体拘束廃止の取り組みは全従業員に対して決められた回数以上行っている。新しい入居者の環境、既存入居者の変化には管理者とカンファレンスを行い適切なケアを検討している。	研修会等を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識し、年3回「拘束廃止を進めるための自己評価表」等も活用しながら具体的なケアの中で実践を重ねている。隔月に身体拘束委員会を開催して事例検討を行っている。事業所は水路と鉄道に隣接するため事故防止のため通常は玄関は施錠している。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	管理者は広島市が主催する研修に参加し職員に伝達出来るように研修を行っている。またホーム内研修を行い虐待をしてしまう環境を作らない様に学んでいる。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	毎年1回以上権利擁護や後見に関する研修を行っている。入居者の中で成年後見制度を選択する方も増加している為日常的に司法書士との連携も行っている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約および解約の際には十分な説明をしている。その後不安や疑問点などは来所時などに説明を行い納得されている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時家族からの意見要望があれば傾聴し運営に反映させている。2ヶ月に1回の運営推進会議でひやりはっとや事故報告などが参加者に報告され意見を出して頂く様に心掛けている。また家族会では意見交流会を実施した経験もある。	利用者の意見は日々の会話の中で、家族とは面会・介護計画見直し時・運営推進会議・家族会等を介して管理者や職員が把握する様に努めており、連絡ノート等で共有をしている。利用者のやりたい事・食べたい物等の要望に応え、家族の知りたい情報を提供したり、要望により家族会の開催を増回した経緯もある。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	シフト勤務による職員同士の連携の取りにくさなどの改善にミーティングの実施を行っている。今年度の行事は困難が多いが昨年まではどの行事を誰が担当するかなど職員が決めて行事進行を行った。	毎日の申し送り、隔月の身体拘束委員会、行事会議を主とした定期的な職員会議や管理者との随時の個別面談等で意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案等に対する支援体制を採っている。職員提案によりプレnder（ハンドミキサー）を導入し、その方の嚥下能力に応じたきめ細かな食事形態での提供に繋がった例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	日勤勤務の職員は全員が介護福祉士資格を持ち介護支援専門員資格を取得した職員もいる。処遇改善加算に見合った給付がされており研修への参加希望は出来るだけ調整して受講できる体制をとっている為継続して働くことが出来ている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	ホーム内研修として毎月テーマを決めて研修を全員が受講している。認知症基礎研修・実践者研修など広島市が行う研修には参加希望を募るなど機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括主催の口田地区地域密着サービス連携会議には参加し、近隣のグループホームの管理者と顔合わせや意見交換をしている。また認知症アドバイザー研修会も定期的に参加している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居決定後の自宅訪問には、担当職員を同行して訪問したり入居日を担当者が勤務する日に選択することで、本人の緊張を和らげる様にしており、入居事前情報を熟読し必要事項を把握する。本人の思いが引き出せるように会話に配慮し引き出した情報の共有をし実践に移すようにしている。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時の提出書類に『どんな生活がしたいか?して欲しいか?』『不安なこと?』など記入して頂くようにしている。また担当者を決めて支援や傾聴に努めており、家族の不安や要望などがあれば出来るだけ素早い対応をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>母体法人の通所リハビリテーションに長年通所した入居者が顔なじみの方との継続的な交流を希望されたりする場合もあり調整を行うこともある。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者さんの中には、食事の盛付けを毎日されている方や洗濯物の整理など自分で出来る事を行って頂いており、時々職員から出来そうな事があれば声をかけやってみることもありますが、何をどうしたいのかどうありたいのか気持ちを口に出せるように関わりを持つ細かいサインを見逃さない様になっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族の役割は職員では代われないかけがえのないものであると考えている。ご家族には「一緒に何か食べに行こうか」などの思いがあることは実行して下さるようにお伝えしているし、日々あったこと、言われた事想いを家族来所時報告させて頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>現在は感染症対策による制限もあるが、短い時間であっても来所された時にはゆっくりと話が出来る楽しい時間が過ごせるように環境を整えている</p>	<p>「気軽に訪問できる事業所作り」「地域との絆」を大事にしている。家族・友人等の面会や家族の協力の下、墓参り・孫の結婚式への参加等、馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様にしている。現在はコロナ禍による面会制限下、感染症対策を施した面会エリアを玄関に設置する様取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	本人の話利用者同士の関係を把握した上で様々な事柄を提供する様に努めている。特に共有の話題を提供し入居者の方々が自ら会話に参加出来る様に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	遠方の家族には毎月のお手紙を送っていたが、亡くなった後にも感謝の手紙や電話を頂くこともあるし、野菜を届けて下さる方もおられた。妻の入居中は毎日のように来所され安否確認を行っていたが、妻が逝去し高齢の夫が地域で暮らす上での見守り等を地域包括に連携をとったケースもある。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中でどのような気持ちを持ち何を望んでいるか聞き出せる状況環境に努め、可能であれば実行にむけ他の職員と話合う。	利用開始時に利用者の習慣や好み等の情報を収集し、その後はその方に深く関わりをもつことで思いを汲み取り、家族情報も参考にしつつ連絡ノート等で共有している。受容して利用者の強みに意識を向け、活動的な生活を望まれる利用者の希望に沿って母体医院の通院リハビリに繋げた立案例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居決定と同時に住んでいた家、部屋を訪問し、どんな景色の中でどう過ごしておられたかを確認している。写真を撮り他の提出書類やアセスメントなどと一緒に職員に事前回覧し、把握をしている。ご家族、本人の話を読む、聴くことで情報収集をする、職員同士での情報交換に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員間での情報交換、報告、記録の確認を日々行うように意識している。一人一人の方々に常に会話の声掛けをし職員間の情報を得て身体心の状態の把握に努めている		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成者は十分なアセスメントと課題分析を実施した上で、職員担当者と話し合いを行い介護計画を作成するようにしている、3ヶ月ごとや6ヶ月毎にケアカンファレンスを行い現状課題を話し合いなどしている。</p>	<p>計画作成担当者が作成した原案を担当者会議で検討し、面会時等に家族の同意を得て本案としている。職員担当者が3ヶ月・半年毎に実施するモニタリングを集約し、計画を見直している。音楽に触れた生活を望まれる利用者に母体医院併設の通所リハビリの音楽教室に月3回参加する立案に繋げた例もある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の介護記録/ト連絡による職員同士の情報共有により質の高い介護計画となるように努めているまた、会話から生まれる心の声を聞き逃さな様に記録する又、他の職員も口頭で伝える様にしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者に変化が生じればその都度ケアマネに報告し検討や試みを行っている。しかし多機能化までには至っていない。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>感染症対応の時期以外は地域の商店に職員同伴にての買い物をしている。また髪を染めたい入居者には地域の訪問美容のスタッフに訪問してもらい染髪してもらったりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>病院との併設により受診にはすぐ対応出来る又かかりつけの病院がある方はご家族の協力のもと通院されている。精神的に専門医の診察が必要と判断した場合には併設医院から紹介をする形で連携をとり周辺症状が軽減する様に援助を行っている。</p>	<p>利用前の主治医の受診継続も可能だが、全ての利用者は協力医を主治医としている。協力医である母体医院は隣接しており、受診・健康管理等、日常的な医療連携が図られている。専門医の受診は主に家族の協力によるが、法人系列の協力歯科から月1～2回の訪問歯科診療もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居者は入居時に法人の診療所を受診し健康チェックをしている。日々の医療体制としては、毎朝のバイタルチェックと前日からの様子の記録用紙を看護師と主治医に提出しており、日常的な様子を医療連携している。特に血圧についての薬剤の調整は早めに行っているし、検温での異常には医療処置へつなげている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	急変時に備え、診療所の病棟にも入居者の情報についてはご家族了解のもと連携を取っている。当院への入院ではほぼ毎日職員が訪問し様子を確認する。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時には重篤化指針を説明し同意を受けている。生活が主体のグループホームではあるが、状態の変化があった場合主治医との連携のもと本人やご家族の希望に沿ったケアが出来る様に援助を行っている。実際に看取りになった事例もあり家族との話し合いを重ね、カンファレンス行いながら実施した。	要望があれば看取りを行なう方針である。入居時「重度化対応・終末期ケア対応指針」を説明し了解を得ている。重度化した際は主治医・家族等で話し合い、今後の方針を決め、適切な支援を行っている。過去に数例の看取りがあり、「居室にお参りの場」を設けたり、グリーフケア（死別による悲しみのケア）や振り返り会議も行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急事故発生時対応として緊急マニュアルを説明し対応出来る様にしている。又急変時対応の研修も実施した。母体法人が休日に急変対応を行い基幹病院への救急搬送を行った事例では職員がいつもと違う様子に気づき適切な連携をとり一命をとりとめた。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	水害地域であり、河川のライブカメラなどのインターネット情報を受け取る体制をとっている。安全研修にてどの様な災害対策をとっているのかを説明研修した。防災訓練については実践に即した訓練を回数多く実施したいものである。長雨と太田川の水位を確認し緊急避難を行ったこともある。	年2回の防火訓練を夜間想定、利用者参加を含め実施している。又洪水浸水想定区域に該当しており、防災ライブカメラ等による近隣河川の状況分析を活用した災害対策を安全研修にて周知させ、先の豪雨災害時にも実際に階上や近隣母体病院に避難した経緯がある。母体病院にて災害対策として備蓄整備も行っている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご本人のその日その時の様子をその日の出勤者で共有出来るようにリアルタイムで伝える様に心がけている。自尊心、羞恥心に配慮した言葉かけを行うようにしているが、まだまだ配慮が足りない言葉を使用している現状がある。	研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制もある。尊厳に配慮してケアに関わり、利用者に対する声掛けも不適切な対応には指導を行い、気づく事の重要性や望ましい対応を意識できる職員育成に取り組んでいる。職員は「拘束廃止を進めるための自己評価表」等も活用し不適切なケアの自己点検をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の関わりの中で利用者の思いを把握情報収集する様にしその様な場面に遭遇した場合には思いを聞き出すように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々ののペースに合わせて過ごして頂きたいと日々思い努力するが連携がうまくいかず実践出来なかったりすることもある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入浴時外出時等、本人の意向を聞き好きな物を着用して貰っている。洗面所での整容が各自簡単に出来る様にBOXの中に必要なものを準備している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食べやすい物食欲が湧くような盛り付けや器を配慮する、個々にあった食器用具の準備、台所仕事を各自にあった役割で行ってもらう。毎日ではないが月に2回献立を決めて買い物から片づけを行う機会を設けている。	外部委託で予め調理された副食が届く。主食や汁物は職員が作り、利用者にはできる協力をしてもらい、共に食事の雰囲気作りを楽しんだり強みを発揮する機会になっている。コロナ禍による自粛前は外食ツアーも行っていた。利用者の好みを反映して月2回食事作りの日を設け、役割分担や検証作業も実施している。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食の摂取量の検討をした上で健康状態が保てる様に対応している、その方にあった食事形態、補助食品の工夫は行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後が口腔ケアを行っている、義歯洗浄もしている。法人内に歯科があり歯科医師からの指示、アドバイスを実践、口腔内の状態を確認し定期クリーニング通院もしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>状況、状態に応じて都度対応を変更し不快な思いをしない様に実践している。ひとり一人の排泄パターンにあったトイレ誘導・声掛け等行っている。</p>	<p>排泄記録表等でパターンを把握し、トイレ誘導を基本としている。排泄の自立支援として「不快感の解消」を優先に細かなサインを見逃さない対応を心掛け、日中は布パンツ・夜間は紙パンツ等、排泄状態に応じた対応をしている。又、前屈みで排便し易い様に足元に足台を作成・設置した工夫例もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の様子は申し送り等で勤務する職員が把握しており、場合によっては薬で排泄コントロールをしているが、ヨーグルトなどの食品を補助的に摂取する方もいる。朝食後にラジオ体操を実施しており毎日入居者の参加がある。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴スケジュールはあるが、その日の体調によったり、希望によって中止、翌日入浴等替わることもある。入浴の意思希望を確認しているが全ての希望にそわない現状もある。</p>	<p>週3～4回の午前・午後入浴を基本とするが、利用者の体調や入浴習慣に合わせ好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。利用者の身体的負担を考慮し、特殊浴槽（いす式のリフト浴を含む）等の環境整備の他、冬至の柚子湯・入浴剤等も好評である。身体状況によっては母体医院の機械浴を利用する事もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>臥床されたいであろう様子であれば声かけして居室へ誘導している、各入居者の暑がり寒がりを把握し布団室温調整を行う。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>個別にファイル管理されており処方時にはチェックする、変更時には個別ノートを設けており変更事項を記入し確認把握する。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>好きな飲み物を提供するなどの工夫を行い、自分のことを自分で行うように援助をするが、認知症進行によって難しい場合もあり職員は見極めを行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>感染症の流行もあって外出外泊制限を行っている。過去には外出外食は定期的に計画し入居者全員に参加して貰ったりお花見、外食など全員参加の計画と初盆前の墓参り、美術館へ行くなどの個別計画を立てたケースがある。</p>	<p>コロナ禍による自粛前は日頃から散歩や買い物等を少人数で楽しみ、又、利用者全員が参加する花見等季節行事の他、大型商業施設での買い物や外食ツアーの外出行事で「非日常」を楽しむこともあった。更に希望により墓参り、絵の好きな方の美術館見学等、個別的な外出支援にも取り組んでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>自分で日常品の購入に使うお金を管理する方、お小遣い程度持っている方、全てを職員が介助する方とその方の状況に合わせて支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族会の招待状やお礼の手紙を書ける人のみではあるが自分の言葉で書いてもらった経験はある。電話をかける事が可能な場合には行うこともある。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>玄関に利用者さんの習字絵リングには写真、壁画など飾り工夫している。洗面台、フロア、テーブルに花、観葉植物等飾り、1年の行事季節にあったものを飾っている。</p>	<p>季節の花や正月・七夕等、行事の飾り付けや利用者とする絵・習字等の壁掛け作品で季節の移ろいが感じられるよう工夫している。芳香剤の使用により施設特有の臭いを解消し、又、今般の感染症対策で来訪者・職員等の消毒・マスク着用や換気等に万全を期している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>仲の良い入居者同士隣席にし1人でも過ごせる様に談話室を使用している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室にご本人の思い出の品、大事な写真等を飾り、リラックス出来る空間になる様に工夫している。</p>	<p>居室にはベッド又は床頭台等が備え付けられ、仏壇・家具等、使い慣れた物や家族写真・自作絵等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。今般の感染症対策で換気や消毒を強化し、又、夜間排泄のためポータブルトイレや転落防止のため布団の設置等を行っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレには便所などの目印をしたりしてわかりやすくしている。ある入居者には転倒防止のため用事の際にはベルを鳴らしてもらっている。</p>		

V アウトカム項目( ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> ②数日に1回程度 <input type="checkbox"/> ③たまに <input type="checkbox"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①大いに増えている <input type="checkbox"/> ②少しずつ増えている <input type="checkbox"/> ③あまり増えていない <input type="checkbox"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	「やさしさを大切にふれあいをわすれずに」を理念として掲げ、日々業務にあたっており、それに基づいた支援を行っている。また、事務所ドアにも掲示してスタッフにも浸透している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣住民に挨拶等は欠かさずしている。秋祭りには神輿が来るのを楽しみにしている。中学生の職場体験の受け入れ、中学生対象の認知症の講座を行ったりもしている。今年も予定はしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	管理者により、認知症サポーター養成講座など実施している。中学校にて、講座を行った実績もある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	最近では入居者家族が現在も働いている方が多く、参加が困難な状況である。案内は欠かさずお送りしている。地域包括支援センター、民生委員とのやり取りが主になってきている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	日ごろからの連携はないがまれなケースでの対応時に相談などしたことはある。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	当ホームの年間研修に組み込み、学習しており正しく理解できている。また運営推進会議に合わせて身体拘束廃止委員会も開催し話し合いを議事録にして回覧を行っている。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	入浴時など、体のあざはないか等チェックしたり不明な傷を発見したりしたときにはスタッフ同士で話し合い報告書を挙げています。年間研修にも組み込んでおり学ぶ機会も設けています。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	過去に入居者様の後見人に司法書士の方がおられ、運営推進会議において権利擁護における勉強会をスタッフ、家族へ行なった実績もあります。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約、及び解約の際には十分な説明をしています。契約後も疑問点等あれば、適切に答えている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	特に機会を設けてはいないが、意見等があれば、その都度対応している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>介護職員から入居者の日々の変化の報告を受け、連絡ノートなどを活用し対応している。また随時話し合いにも応じている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務態度など個別に評価を行っている。労働時間や勤務希望など出来るだけ対応しています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>資格取得の励行などしていますが基本的には個人に任せています。また、年間計画として、虐待防止研修など、参加しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>他事業所の管理者との付き合いはあり、必要時には連絡を取り合っている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居にあたり、様々な不安があると考えられる為、十分な意向聞き取りや信頼関係の構築、家族からの情報収集に努め傾聴している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	職員から積極的にコミュニケーションをとるように心がけ、信頼関係を築き、また情報の共有も連絡ノートやメモを活用しています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居に関しては即日対応が困難である為、その家族の相談に対し、希望があれば、同一法人の通所系サービスなどで対応し現状の負担が少しでも軽減されるようにする事もあります。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	食事作り、食器洗い、洗濯物をたたむ、掃除機をかける等、ご本人のできることを把握しつつ安全に配慮しながらもに行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	外出、外泊支援、法事などにどのようなことに気を付けて外に連れていけばいいか等相談を受けたりし、その家族のできることなどを支援してみても、などの提案もしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	在宅のころのご近所の方などがお見えになることもある。話しやすいようにテーブルを出すなど環境を整えるなどしている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>気の合う入居者同士を同じテーブルにしてみたりなどの配慮をしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退居された方の家族にお会いすることがあれば挨拶などすることはある。</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>基本的には3か月、6か月ごとにカンファレンスを行い、支援方法の確認が本人に合っているか、家族の希望を確認しています。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入居の段階で事前にこれまでの生活スタイルなどを自宅訪問などで把握し、タンスの位置、ベッドはどちらから出入りしていたか等、できるだけ近い環境にする対応はしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>挨拶などをした際の返事の仕方、表情、顔色など細かいところの変化に注意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	入居前や入居後もご本人と家族の意向を重視し、聞き取りなどを行なっている。状態が変化すればその都度話し合いなど行い細かい調整をしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、特段の変化があれば、ケース記録や、個人ファイルへ記入しています。さらに連絡ノートにも記入し、何も知らない状態で仕事に入ることのないようになっています。連絡ノートは出勤時に必ず確認するようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	食べられるものが限られている方に対し通常の食事ではなくその方に食べられるものを提供したりしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	喫茶店へ行ったりスーパーやデパートにて買い物を楽しんでいたりしたが、現在は感染症予防のため控えている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	家族、本人がかかりつけ医を希望される場合は、そちらへの通院をお願いしているが、殆どの場合当医療機関での管理を希望されています。又がんなど重度の疾患の場合、基幹病院へ送ることもあります。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の通院にて心身状況の把握や、緊急時の対応を協力してもらい専用のノートに記録しています。体調の変化には迅速に対応しています。様子に変化がありそうな場合にも事前に報告を入れておくなど密に連携をとっており、詳しく状態を報告できるようにしている。また毎日血圧測定の一覧を提出し、確認してもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	事前に当該利用者のアセスメント用紙などは渡している。事前には最低限の情報共有はできており、入院の際には直近の情報を報告するようにしている。ケアプラン更新の際には最新のアセスメントに交換している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時の書類として重度化指針の説明を行い、承諾をもらっている。またデリケートな話である為、話を切り出すタイミングも気を使うようにしている。		
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時には医療連携を取るようになっています。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回消防避難訓練を実施している。また母体の医療法人からの連携体制も取れている。また警備会社との連携、火災報知器を押した時に消防署に自動的に連絡が行くなど充実している。消防署主催の研修にも参加した。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自尊心、羞恥心に配慮した言葉かけを行なうようにしている。特に排泄に関わることなどは入居者の耳に入らないところで話すなどしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	言葉で物事を表現するのが困難な方でも、できるだけ自分の思いを言っただけのようにわかりやすい言葉などで選択肢を出すなど心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	急に入浴がしたくなった方や、散歩に行きたい方など、できる限り対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	昔からの行きつけの美容院へお連れするなどの支援をしたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の盛り付けができる方などには積極的に行っていたりしている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分補給に関しては重要視しており、特に摂取していただけない方には、ゼリーにして食べていただくなど工夫をしている。また食べ物に関しても通常食が食べれない方にはその方の食べたいものを提供するなど対応はしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食口腔ケアを行っている。母体法人に歯科もあり、協力体制を築いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定期的、または随時排泄誘導を行っている。個別的に排泄支援の回数を決めていたり、便臭、尿臭がするなどが見られたら誘導するなどしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>薬だけに頼らず排便を促したいと考えてはいるが実際は水分、食べ物、運動だけでは改善しきれないことが多く、下剤の使用が多い。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>個人個人のその日の予定（通院や外出）や気分に合わせて、午前に入るか午後に入るか決めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	なかなか寝付けないかたには主 治医と相談して睡眠薬の処方な どもしている。できるだけ日中 の活動量をあげ、夜間の良質な 睡眠につなげていきたいと考 えている。最近ではオセロなど 行い頭をよく使うように促して いる。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬の数も多く、全ての職員が薬 の効能等の全てを把握できてい ないが、個別にまとめたファイル があり、その中を確認したら把 握出来るようになっていきます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	編み物、オセロ、散歩、買い物 、雑誌など多岐にわたり提供し ている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。	散歩程度なら随時対応できるが 、外食などは事前に計画をもっ て行うことが望ましいと考 えている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	個人的に金銭を所持したい方につ いては個人の責任において管理 していただいております。また 管理の難しくなった方などは 家族に相談したりしている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	さみしさの訴えなどがあった場合に家族の声を聞いてもらったり、用事がある場合に申し出ていただくことで支援している。またスマートフォンをお持ちの方もおられテレビ電話で家族と話を日常的にされている方もおられます。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ホーム内の温度、湿度管理はこまめに行っている。特に居室は日当たりのいい所があるため、夏などは他の居室より温度を下げる等している。冬は湿度を上げるようにしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	入居者同士の相性をみたり、一人での作業をしたり、くつろいだりするスペースを作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時には茶碗、コップ、タンスなど使用していたなじみのものを持ってきていただくようにして、できるだけ違和感のないように対応している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりなどは完備している。また、「トイレ」ではわかりにくい方の為、「便所」と書いてわかりやすくしている。		

V アウトカム項目( ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム博寿会ほほえみ

作成日 令和2年 9月 29日 (火)

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に基づいた支援ができていないかの検証ができていない。	理念に基づいた目標を各個人が設定し、評価していく。	3か月ごとに個人目標を設定してもらい、その目標について自己評価、管理者評価をしていく。	12か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。